

2023年度 アジア学院学生一覧

農村指導者研修プログラム（本科生）

創立 50 周年に当たる今年度は、14ヶ国から本科生 27 名、研究生 3 名を迎えて研修を行っています。

ネパール

Nepal



サンギタ・チョウダリー

Sangita Chaudhary

シスターホーム・オーガナイゼーション
Sister Home Organization (SHO)

代表補佐、事務員
Assistant to Director and Secretary

サンギタ・Sangita

家父長制の中で育ったので、私は若い女性を力づけ、若者に享受すべき人生の機会を与えることに努めています。シスターホームでは、孤児の教育や、女性の差別について教える授業を行っています。アジア学院では、リーダーシップを磨き、多くの議論を交わしたいと思っています。

シエラレオネ

Sierra Leone



アミナタ・コンテ

Aminata Conteh

シエラレオネ福音ルーテル教会
Evangelical Lutheran Church in Sierra Leone

フィールド・オフィサー
Field Officer

アミ・Ami

私は、地域の人たちに貯蓄や家計管理を教えるプログラムに関わっています。私たちの目的は、教会や家族の持続可能性を高め、子どもたちが学校に行く機会を作ることです。また、女性を力づけるための授業や課外活動も行っています。アジア学院では、マネジメント能力を高めたいと考えています。

カメルーン

Cameroon



ヴェランソ・ベンジャミン・リティカ

Veranso Benjamin Litika

農村改革センター
Rural Transformation Center

フィールドワーカー
Field Worker

ベン・Ben

私は地域住民の生活を向上させたいと思っています。養蜂、自然療法、持続可能な農業の分野で活動しており、特に農業に頼らないことのメリットを農家に教えています。アジア学院では、異文化や他宗教に触れることから学んだり、農作物や家畜の病気対策など農業に関する知識を身につけたいです。



クラリス・スイニユイ・ブヴェン

Claris Suinyuy Buhven

農村女性開発センター
Rural Women Development Center

農場監督、補佐役
Field Monitor, Assistant

クラリス・Claris

私は女性の自給自足力と経済的安定性を高めたいという願いをもっています。送り出し団体では資金調達のための事務的サポートをし、団体を代表して会議に参加し、農場を手伝っています。アジア学院では、有機農業、キノコ栽培、農作物繁殖の知識を増やしたいと思っています。

エクアドル

Ecuador



ジョセリン・カロリナ・コヤゴ・タジャナ

Joselin Carolina Coyago Tallana

エクアドルの子どものための友人の会
Sociedad de Amigos Niño Ecuatorino (SANE)

プロジェクトコーディネーター、農場技術者
Project Coordinator & Field Technician

ジョセリン・Joselin

私は子どもたちと教師が作る給食用の菜園を手伝っています。また、データを使って国家機関と協力してコンプライアンスを監督しています。自宅の菜園では果実の販売や農業指導をしています。アジア学院では、公正な農村社会をつくるための事業や文化交流の促進、持続可能なビジネスモデルの構築について学びたいです。

インド

India



タムレイチャン・ズミック

Tamrechan Zimik

地域教育センター・ソサエティ
Community Educational Center Society

カウンセラー、農場管理者
Counselor, Farm Manager

ズミック・Zimik

私は学生に対して、作物の植え付け、除草、水やりを手伝う一方、カウンセリングや霊的指導を行うという2つの役割を担っています。また、学生の時間管理、農業技術の利用、自然災害への対処をサポートしています。アジア学院での目標は、時間管理、農業、そして地域資源の活用スキルを身につけることです。



アモーション・バスマタリー

Amorsing Basumatary

ボロ・バプテスト教会連盟
Boro Baptist Church Association

先進的農民
Progressive Farmer

アモー・Amor

人々がより良い農法を取り入れるように、彼らのモチベーションを高めたいです。私は播種、耕作のために土作りをする一方、政府関係者とのネットワークを作るために役所を訪問しています。アジア学院では、農法やリーダーシップ技術、地域との関わり方を強化していきたいと思っています。



マイディンルン・ガンマイ

Meidinlung Gangmei

先住民女性・子ども基金
Indigenous Women and Children Foundation

ケースワーカー
Case Worker

マイディン・Meidin

私は、自給自足的な農業を促進する技術を高めて食料の外部依存を減らし、地域を力づけています。私たちのビジョンは、すべての人が人権を享受できる公正な社会を作ることです。アジア学院では、食品加工、能力開発、そしてキリストの愛を通して健全で平和な世界を築く方法についてもっと学びたいと考えています。



ヨハネス・アリ

Yohanes Ali

ベルナドゥス・パルス教会
Bernadus Palus Church農場コーディネーター
Farm Coordinator

ヨハネス・Yohanes

地域の農業システムをより持続可能なものに変え、食料安全保障を高めるために、農民と共に働いています。私の仕事は農作物の栽培や繁殖、耕作、収量や栄養価の向上、病虫害駆除や環境負荷要因の排除です。アジア学院での研修を通して、農業指導やコミュニティ形成のスキルを強化したいです。

インドネシア

Indonesia



ジャコブ・シリゴリンゴ

Jakob Siringoringo

列島先住民連合
The Indigenous Peoples Alliance of the Archipelagoコミュニケーション・社会経済組織者
Communication and Social-Economic Organizer

ジャコブ・Jakob

私は、送り出し団体のウェブサイトやソーシャルメディアの管理を通じて、農民の土地の権利獲得や収入創出戦略を促進しています。先住民の伝統的な農業技術の発展を促進することに情熱を持っています。地域住民を力づけ誰も取り残さないために、アジア学院では、最良の有機農業技術とリーダーシップを学びたいです。

リベリア

Liberia



ダークポン・ドロケレン

Darkpon Dolokelen

教育推進プログラム復興
Restoration of Educational Advancement Programs農業指導員
Agricultural Promoter

ディー・Dee

私のコミュニティでは、若者が自己実現できるようなシステムを構築する必要があります。私は教師として、学校農場の運営を通して農業理論や職業訓練を学生に提供することで若者の自己実現を手助けしています。アジア学院の研修では有機農業の技術を学び、将来は学校農場で多様な作物を育て、土壌の質を向上させたいです。

ザンビア

Zambia



ジョフリー・ンベウェ

Geoffrey Mbewe

エキュメニカル開発基金
Ecumenical Development Foundationプログラスマネージャー、機械工
Program Manager & Mechanic

ジョフリー・Geoffrey

私は、農業の技術的な側面で地域の開発を助けることに情熱を持っています。地域の農機具の維持管理をして農作業の効率を高めることに取り組んでいます。また、元受刑者の女性に向けて、農業で収入を高める訓練を行ってきました。アジア学院では、効率化のスキルや家畜飼育による自給自足について学びたいです。



アンジェラ・ラトナ・サリ・ビウ

Angela Ratna Sari Biu

無原罪の聖マリア教区
Sant Maria Immaculata Parish地域開発指導員
Community Developer

エンジェル・Angel

私は、地元の農家や若者と協力し、有機農業を通じて気候変動に強い革新的な技術を活用しています。地域社会のつながりが強いので、私と地域の人々との関係性をより深めることができますよう努めています。アジア学院では、リーダーシップと有機農業のスキルを伸ばし、帰国後は地域の文化遺産の保護にも貢献するつもりです。



ジョントラ・マルトゥア・プルバ

Jontra Martua Purbu

インドネシア・プロテスタント・キリスト教会
Gereja Kristen Protestan Indonesia (GKPI)牧師、農業補佐
Pastor & Farming Assistant

ジョン・Jon

私は聖書研究の指導、教会の財政管理、礼拝の執行、若者や高齢者、病気の教会員への家庭訪問を行うとともに、ナマズ養殖場の管理をしています。アジア学院の研修では、有機農業、地域開発、家畜管理、種子保存のスキルを伸ばしたいと思っています。



ヘレナ・ココ・ベン

Helena Koko Ben

ヴォインジャマ自由ペンテコステ教会
保健センター
Voinjama Free Pentecostal Church Health Center農業プロジェクトマネージャー、
保健センターボランティア
Agriculture Project Manager,
Health Center Volunteer

ヘリー・Heley

自立するための努力をしない限り、私たちが自我を持つことは現実的に不可能です。私は、コミュニティと協力して4エーカーのキャッサバを栽培することで自給自足に取り組んでいます。アジア学院では、サーバントリーダーシップ、農業や化学肥料を使わない地域資源の活用法、人種や宗教の異なる人々との交流に関心があります。



カリヤ・ビルキス・デイヴィッド

Kaliyat Bilkisu David

ウィニング・オール福音教会女性会
Evangelical Church Winning All (ECWA)
Women Fellowship教師
Teacher

カリ・Kally

私は、情熱をもって若い世代に持続可能な農業の重要性を伝えています。団体での仕事以外に、養鶏や地域資源の管理も行っています。アジア学院での研修を通して、特に栽培方法や有機肥料、自然農業について知識を深めていきたいです。



イエニ・エリア・トガトロップ

Yeni Eria Togatorop

バタック・プロテスタント・キリスト教会
Huria Kristen Batak Protestan (HKBP)ジェンダー公正事務員
Secretary on Gender Justice

イエエン・Yeyen

全ての人が互いの強みを分かち合えるようにコミュニティに貢献したいです。ジェンダー公正チームの一員として、男女平等に関するワークショップを開催し、女性の権利と能力強化に取り組んでいます。アジア学院では、有機農業の知識を深めることによって、恵まれない子どもたちが自分や家族を支えられるような支援をしたいです。

ハイチ

Haiti



ルイ・テア・ピエール

Louis-Taire Pierre

ハイチの会
Haiti-no-kai (Association Haiti)農業コーディネーター
Agricultural Coordinator

ピエール・Pierre

有能なリーダーは、地域のニーズを理解し対応します。2018年から教師として地域の人々に養鶏の知識を伝え、農場活動や畜産の仕事の調整をしています。アジア学院では、農業やリーダーシップのスキルを高め、効果的なコミュニケーションや他人を尊重することの価値についてもっと理解したいと考えています。



メアリー・イラトゥン

Mary S. Ylatun

合同メソジスト農村・農業開発プログラム
United Methodist Rural and
Agricultural Development Program農場監督者
Field Supervisor

メアリー・Mary

私は、多くの課題を抱える地域で、すべての農業活動を計画・監督する責任を負っています。地域の課題には、学校、道路、医療資源の不足が含まれています。アジア学院では、有機肥料、害虫管理、農作物の病害、サーバントリーダーシップ、農村開発、持続可能な農業に関して学びたいです。



グー・ター・フー

Gu Tar Hu

ワインモー・リス・バプテスト連盟
Waing Maw Lisu Baptist Association (WLBA)開発監督、牧師
Director of Development, Minister

グーター・Gu Tar

私は牧師で、開発プロジェクトや緊急救援活動を通じて農村コミュニティの生活を改善するために働いています。自然を回復させる農業、環境保全、地域社会のリーダーシップについてもっと学び、新しいアイデアをミャンマーの故郷に持ち帰りたいと考えています。



ソー・セー・ムー

Saw Hser Moo

ポケイ記念神学校
Rev. Dr. R. L. Pokey Memorial
Theological School農場管理者、教師
Farm Manager, Teacher

セー・Hser

私は、低地農村部の保健システムや農業技術を向上させたいと考えています。学校での奉仕を通じて、全人的な宣教として人間社会に仕える方法を学生に教えています。アジア学院では、畜産と複合農業についてもっと学び、学生が地域社会のリーダーになるための実践的な職業訓練を行いたいです。



パー・マウン・リア

Pa Maung Lia

農村開発のための地域連合
Community Association for Rural
Development (CARD)生活・訓練コーディネーター、牧師
Livelihood and Training Coordinator, Pastor

パーマウン・Pa Maung

牧師であり農民である私は、農業で生計を立てるために奮闘している私の地域の問題を理解しています。私は緊急救援や復興支援を行い、農業技術や環境意識について教育しています。アジア学院では、女性の権利と能力強化の戦略を見つけ、リーダーシップを磨き、革新的な農業技術を習得し、地域開発を促進したいと考えています。



フン・ジョー・セツ

Fung Kyaw Set

ナガ・パブリック・オーガナイゼーション
Naga Public Organization (NPO)農民、教会スタジオ・サウンドエンジニア
Farmer and Church Studio Sound Engineer

フン・Fung

私は主に実験的なダムソン栽培に取り組んでおり、収量の向上と顧客の拡大を実現するために新しい栽培方法に挑戦しています。地元のワイナリーに販売するほか、ピクルスも作っています。アジア学院では種子の保存について学び、食品加工や農法についての知識の幅を広げたいです。



アロン・ネビン・オティム

Aron Nebin Otim

聖ユダ孤児院
St. Jude Children's Home農場補佐
Farming Assistant

オティム・Otim

聖ユダ農場では、作物の植え付けや動物の餌やりなどの農作業の補佐をし、孤児院では、子どもたちの衛生管理、給食、栄養の授業を手伝い、子どもたちを励ましています。その他、森林再生や応急処置に関する仕事の調整なども行っています。アジア学院ではリーダーシップとコミュニケーション能力を高めることを目標としています。



リチャード・トゥムウェシゲ

Richard Tumwesigye

聖パトリック総合開発センター
St. Patrick's Center for Integral
Development (SPACID)プロジェクトマネージャー
Project Manager

リチャード・Richard

私は近隣諸国からの難民と共に働き、彼らの悲しみを分かち合っています。彼らの社会復帰のための教育や基盤作りを第一の目的として、一緒に家畜繁殖に取り組んでいます。今後は、農作業に関わるマネジメントやコミュニケーション能力を向上させ、私たちの事業をより利用しやすいものになりたいと考えています。



ミトゥン・ボイラージ

Mithun Boiraege

社会福祉青年協会
Somaj Kollan Jubo Songho (SKJS)秘書、青年コーディネーター
Secretary, Coordinator of Youth

ミトゥン・Mithun

私は地元の農家と相談しながら、費用対効果の高い持続可能な農業を目指しています。また、起業家精神を養い、問題の根本を見極めるための無料講座も開催しています。アジア学院では、「共に生きる」とはどういうことなのかをより深く理解し、より豊かに知識を共有できるようになりたいです。

(研究科生 TA)

研究科生は学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、**トレーニングアシスタント (TA)**として学生の研修を助けます。



マリオ・ジョン・ポール・レベロ

Mario John Paul Rebelo

フランシスコ・ザビエルの宣教会
ソサエティ・オブ・ピラール
Missionaries of St. Francis Xavier,
Society of Pillar司祭、農場管理者
Priest & Farm Manager

マリオ・Mario (2014 年卒)

地域の教会においてチャリティイベントや青少年のためのプログラムを主催しています。農業分野では、生物多様性を高める有機農業技術、緑肥、総合的な病害虫管理などを教えています。アジア学院では、共同体生活を支え、家畜の繁殖と持続可能な農業技術に関する知識を深めようと考えています。

(研究科生 GI)

日本人卒業生は、特定の一分野に焦点を当てて、その分野のより深い理解と幅広い経験を培うために、卒業の次年度に研究科の**卒業生インターン (GI)**に応募できます。



須田 愛結

Ayu Suda

アユ・Ayu (2022 年卒)

私は、国際関係学と教育学を専攻していた際に、食と若者の間に断絶があることを痛感しました。アジア学院の生活と研修は、それらを結びつけるプログラムを作成するためのアイデアを与えてくれます。アジア学院では、有機農業の体験を通じて若者が食について考えることができるような機会を作りたいです。



中島 のそみ

Nozomi Nakashima

ノゾミ・Nozomi (2022 年卒)

私は GI として、平和に暮らすための持続可能な環境作りについてより深く学びたいと思います。学生として過ごした昨年のアジア学院での一瞬一瞬が学びの場でした。私たち人間の生活において、食と命は繋がっています。アジア学院の2年目では、ヤギの管理技術とリーダーとしての自分を磨き、自信と決断力を高めたいと思います。

アジア学院は草の根のコミュニティで働く「農村指導者」のための効果的な指導者研修プログラムを提供しています。



卒業生たちは、世界で最も貧しく取り残された共同体が自分たちの食料、土地、コミュニティなどの資源を最大限に活用し、分かち合い、喜びを持って生きていけるよう自立への手助けをします。

仕える
指導者

学びの
共同体

フード
ライフ

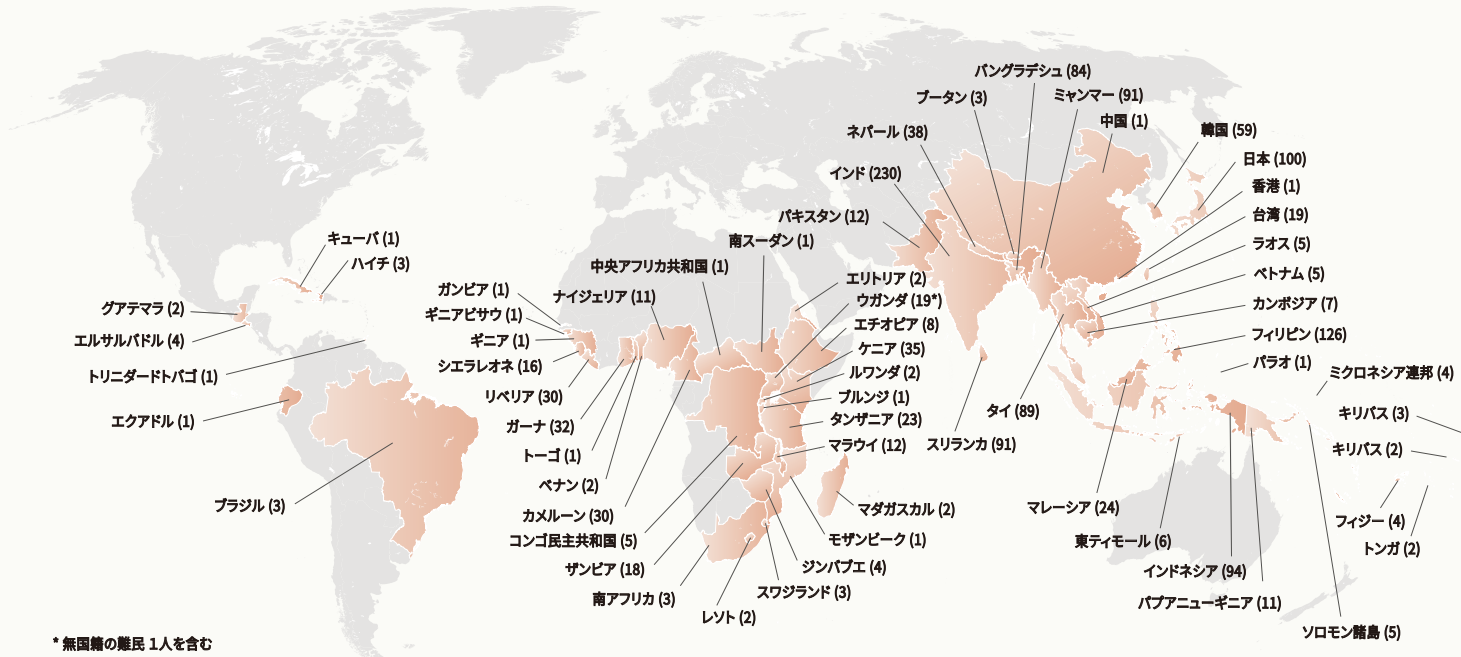
毎年、アジア、アフリカ、中南米や太平洋諸国の団体から農村指導者を栃木県那須塩原市のキャンパスに招いています。

9か月の研修プログラムは「共に生きるために」という学院の掲げるモットーに導かれて実施されます。



世界に広がる卒業生

Graduates around the world



卒業生の数は、62カ国から1,399名

ご支援
ください!

みなさまの開発途上国に対する思いをアジア学院に託してください

>> 郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758
口座名義：学校法人 アジア学院
お名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入ください。

>> 郵便振替

記号：10700 番号：8002711
口座名義：学校法人アジア学院

>> 足利銀行

支店名： 西那須野支店
口座番号：（普通預金）112403
口座名義：学校法人 アジア学院

クレジットカード・その他の
ご寄付については：
ari.ac.jp/donate/

学校法人 **アジア学院**
アジア農村指導者養成専門学校

〒329-2703
栃木県那須塩原市槻沢 442-1

Tel 0287-36-3111
Fax 0287-37-5833

info@ari.ac.jp
ari.ac.jp

（ドメイン名が新しく
なりました）

